

樋口ゼミ主催

クリスマス・クラシック・コンサート

かつて多摩大学に在籍していたヴァイオリニスト山口豊が
多摩大学に戻ってリサイタルを開く！！

☆コンサート内容☆

- 1 エルガー 「愛のあいさつ」
- 2 バッハ 「シャコンヌ」
- 3 ドビュッシー 「月の光」
(ベルガマスク組曲より)
- 4 ショパン 「英雄ポロネーズ」
- 5 バッハ 「アリア」
- 6 アメイジング・グレース
- 7 サラサーテ 「ツィゴイネルワイゼン」

☆演奏者紹介☆

☆ ヴァイオリニスト
山口 豊

☆ ピアニスト
大石 啓

☆とき☆ 12月23日(月)
開場 14時40分 開演 15時

☆ところ☆ 多摩大学101教室

☆料金☆ 無料

お問い合わせ 080-5893-3668

演奏者紹介

山口 豊 (やまぐち ゆたか)

東京生まれ。玉川学園高等部、桐朋学園大学、多摩大学を経て、現在朝日大学歯学部歯学科四年在学中。

2歳より鈴木メソードにて、バイオリンを始める。YFU 交換留学プログラムにて、高校在学中1年間ドイツに滞在し、音楽の持つ力に魅了され、本格的に音楽の道を志す。

桐朋学園大学在学中に、サシュコ・ガヴリロフ氏(元ベルリンフィルコンサートマスター)に「偉大な才能には責任がある。」と絶賛され、即座に、住み込みの内弟子として、無償にて、ドイツに招聘される。氏の内弟子としては、史上二人目。もう一人はフランク・ペーター・ツィマーマンである。その後、多分野を経験し、多面的な見識を深めたいという好奇心から、他の分野への道を志す。

受賞歴としては、毎日新聞社主催第5回弥生の里ジュニア音楽コンクール 高校生の部第一位、並びに教育長賞受賞、MBK 音楽コンテスト優秀賞(部門最高位)、HANAMIZUKI 芸術フェスティバル銀賞、同コンクール全国大会出場、入選。第15回万里の長城国際コンクール入選等がある。また、草津夏期国際音楽祭(日本)、ワイマール音楽祭(ドイツ)、シュレスビヒ・ホルスタイン音楽祭(ドイツ)、ロストック国際アカデミー(ドイツ)、グッピオ国際音楽祭(イタリア)等に出演。それぞれの音楽祭等でオーケストラと競演している。これまでに共演した音楽家には、ウェルナー・ホイットリング氏、カール・ズスケ氏、サシュコ・ガヴリロフ氏、岩崎淑氏、岩崎洸氏等がいる。

現在、岐阜チェンバーアンサンブルコンサートマスター、長良弦楽四重奏ファーストバイオリン奏者をつとめる。

大石 啓 (おおいし けい)

静岡県出身。ルドルフ・ゼルキン氏の弾くベートーヴェンに感銘を受け、往年の巨匠らの演奏スタイルを研究する。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、桐朋学園大学院大学修了、プラハ音楽院にて研鑽を積む。

ピアノを岩崎淑・M.レゼク、N.ヘラー、大谷三千雄、A.ウェーバージンケ、H.ブラウス、深澤亮子、津田真理の各氏に師事。ホフマン、コルトー、ラフマニノフ等の伝説的ピアニストに学んだルース・スレンチェンスカ氏に学ぶ。

第4回大阪国際ピアノコンクール一般の部第2位。第26回ヴァルセジア・ムジカ国際ピアノコンクールディプロマ賞(イタリア)。国内ではリサイタル、オーケストラとの共演、室内楽及び声楽のコンサートに出演。チェコ、イタリアの音楽祭に出演、2011年にはプラハ・パルフィー宮殿にてリサイタルを開催(チェコ)。

2008年よりリサイタル・シリーズ主宰、国内外よりアーティストを招き共演、ベートーヴェン時代の演奏会スタイルを再現している。ホロヴィッツ編曲作品を採譜演奏し、「展覧会の絵の展覧会」サイトにも取り上げられた。日本演奏連盟、カロローザ、品川クラシック音楽協会各会員。